

セイル・オン第 14 回 JYMA 選抜 大学対抗&U25 ヨットマッチレース
兼 2025 全日本ユースマッチレース選手権大会
レース公示 (Ver. 1.1)
2026 年 3 月 06 日-08 日

共同主催：日本ヨットマッチレース協会（JYMA）

三河みとマリーナ

後 援：日本セーリング連盟（JSAF）（JSAF全日本公認申請中）

特別協賛：(株)ピー・アール・エフ セイル・オン事業部

開催地：愛知県三河湾 三河みとマリーナ

愛知県豊川市御津御幸浜 1-1-21 Tel：053-376-3100

本レース公示および本大会の帆走指示書には以下の略語が適用される

PC：プロテスト委員会

NoR：レース公示

OA：主催団体

RRS：セーリング競技規則

SI：帆走指示書

RC：レース委員会

[NP]：NoR1.3に記載のとおり、艇による抗議はできない。

JYMA：日本ヨットマッチレース協会

WS：World Sailing

1 規則

- 1.1 本大会には、RRS付則Cを含む『セーリング競技規則』に定義された規則が適用される。
- 1.2 艇の取扱いおよび装備品リストに関する規則が適用され、その詳細は帆走指示書に記載される。それらはプラクティス帆走およびスポンサーレースにも適用される。クラス規則は適用されない。
- 1.3 レース公示（NoR）および帆走指示書（SI）の規則における[NP]の表記は、艇は他艇による当該規則の違反には抗議できないことを意味する。これは、RRS60.1を変更している。
- 1.4 本大会はWSグレード3として申請している。このグレーディングはWSによる審査に付され、明確な理由がある場合は再グレーディングされることがある。また本大会はJYMAイベントグレード係数1.5の大会である。

2 帆走指示書

SIは2026年2月25日以降、JYMAウェブサイト（<http://www.matchrace.gr.jp/>）から入手できる予定である。

3 コミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会の公式LINEオープンチャットにより行う。URLおよびQRコード、登録の方法はSIに記載される。
- 3.2 陸上で信号は発しない。

4 参加資格と参加申込み

- 4.1 12チームが招待される。
- 4.2 OAにより招待され、NoR 4.6、4.7に記載の手順に従って受諾の意思を確認したチームのみが本大会に参加する資格がある。
- 4.3 招待基準は以下の通りである。
 - (a) 大会シード 1チーム：2025年の優勝チーム（慶應大学：チーム「陸の王者」）
 - (b) 2025年全日本インカレ 総合1位の1チーム

- (c) 外洋帆走学連代表チーム 2025年アニオールズ・カップ優勝校（神戸大学）
- (d) NIPPON CUP 2025 葉山シリーズ U-30クラス 総合得点上位1チーム
- (e) 公募により選定する8チーム。

上記(a)～(d)に辞退があった場合はこの枠を広げる。

本項による選考の基準はJYMAの大会実行委員会に委ねられる。

- 4.4 NoR4.3(b)に該当するチームのスキッパーは大学入学後4年以内の大学生であること。
- 4.5 本大会に参加するすべての競技者は2026年3月31日時点で25歳未満でなければならない。
- 4.6 NoR4.3(a)～(d)項により招待状を得たチームのスキッパーは、招待受諾の意思を文書で（メール可）**12月20日**までに、大会実行委員長宛に返信しなければならない。期限までに招待受諾の意思表示がない場合は辞退したものとみなす。
- 4.7 NoR4.3(e)項（公募）により参加を希望するチームは、インビテーション・リクエストを**11月20日から12月10日**の間にJYMA宛に提出しなければならない。
リクエストを提出したスキッパーの中からJYMAの大会実行委員会が選考して招待状を送付する。
- 4.8 すべての競技者（クルーを含む）は、2026年の有効なJYMA会員資格（注1・2）を取得していなければならない。
2026年JYMAユース年会費は種別なく一律に3,000円。本大会で得たJYMA会員資格は2026年12月31日まで有効。
2026年1月1日以降にJYMAホームページで会員登録し、2026年1月1日以降に会費を指定銀行口座に振り込むこと。
注1) ユース年会費対象者は入会時25歳未満であれば登録資格がある。
注2) 確認作業があるため、JYMA会員登録は**2026年2月28日**までに済ませなければならない。
- 4.9 すべての競技者（クルー含む）は、2025年度の有効なJSAF会員資格を取得していなければならない。
（有効期間は2026年3月31日まで）
- 4.10 スキッパーはWSセーラーIDを以下のURLからオンラインにて取得していなければならない。スキッパーは受付時にOAにセーラーIDを知らせなければならない。
<https://www.sailing.org/inside-world-sailing/organisation/our-family/world-sailing-profile/>
- 4.11 外国籍を有するスキッパー、クルーは所属各国連盟の有効な資格を証明できればNoR 4.8、4.9は免除される。
- 4.12 チームは、大会初日の受付時（8:00から）にチームのクルー・リストを提出し、体重測定を行い、チーム全員のJSAF会員証を提示し、すべての費用の支払いを証明して本大会に参加すること。JYMA会員資格はOAが受付時にチェックする。（JYMAは会員カードを廃止している）
- 4.13 スキッパーが招待を受諾しその後辞退した場合、または大会の途中でOAの書面による許可なく会場を離れた場合、WSランキングポイントはゼロとすることがある（WS規定 27.2.2(d)参照）。

注：大会開初日の受付時に会員資格の手続きは行わない。必ず、各自で事前（2/28まで）に登録・入金を行うこと。

5 参加料とパーティー費

- 5.1 参加料（競技艇使用料・船体保険含む）は1チーム6万円である。
- 5.2 招待状を受け取り受諾したチームは、12月27日までに下記の銀行口座に参加料の一部4万円、もしくは全額の6万円を振込まなければならない。（ただしインビテーション・リクエストにより出場するチームで別途指示された場合には、その期日までに振り込まなければならない。）
- 5.3 納入された参加料は、原則として返金されない。
- 5.4 全てのチームは参加料の残金を2026年2月末までに振り込まなければならない。（分割して支払った場合）
- 5.5 レガッタ・パーティーが開催された場合、現地にてパーティー費を別途徴収する。

【参加料振り込み先口座】JYMA学生マッチ専用口座

三菱UFJ銀行 南藤沢支店（732）普通口座0040823 日本ヨットマッチレース協会

注：JYMA年会費の振り込み口座番号は

三菱UFJ銀行 南藤沢支店 0023391 日本ヨットマッチレース協会です。お間違いないようご注意ください。

5.6 大会が中止された場合の参加料の取り扱い

- (a) 3月04日17時までに大会を中止した場合：参加料は全額返却する。
- (b) 3月04日17時以降に大会を中止した場合：参加料を原則返却しない。

6 ダメージとダメージ・デポジット

- 6.1 最初のダメージ・デポジット2万円は当日受付の際に支払わなければならない。このデポジット額は、事故の結果、チームが支払わなければならない最大額ではない。今回使用されるレース艇が加入している船体保険の免責額は1艇につき300,000円である。（リギン関係のダメージが有る場合はこの限りではない）。免責額内のダメージ補修費用は当事者負担とすることがある。
- 6.2 0Aの決定によりダメージ・デポジットから差引を行う場合、ダメージ・デポジットが元の金額まで充当回復されなければ、チームはレースを続けることを許されないことがある。
- 6.3 ダメージ・デポジットが充当されるダメージ、およびその他の損害賠償についてはNoR添付書（ダメージの取り扱い基準）によるものとする。
- 6.4 ダメージ・デポジットの残額は、できるだけ大会終了時に、又は遅くとも大会終了後3週間以内に返却される。

7 乗員（スキッパーを含む）

- 7.1 乗員の内、少なくとも1名は開催地でJ/24を運航できる船舶免許を所持して、その艇の航行に責任を負わねばならない。
- 7.2 チームのメンバー登録に人数制限はないが、レース中の乗員は4~6名とする。NoR 7.6の制限体重以内であれば、登録したメンバーとの乗員の交代を認める。ただし、2レース目以降の乗艇人数は最初のレースに乗艇した人数と同じでなければならない。
- 7.3 クルーを交代する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得なければならない。また、クルーの交代のために要する時間はスタート時刻延期を要請する根拠とはならない。
- 7.4 登録したスキッパーが大会を継続できなくなった場合、RCはクルー・リストに登録されたオリジナル・クルーメンバーからの交代を認めることができる。
- 7.5 登録したクルーメンバーが大会を継続できなくなった場合、RCは交代クルー、一時的な交代、またはその他の調整を認めることができる。
- 7.6 乗員の合計体重は、受付時の計測において、最低限シャツとショーツを着用した状態で350kg以内でなければならない。
- 7.7 未成年者（3月06日時点で満18歳未満の者）は、保護者の同意書（署名、捺印が必要）を大会初日の受付時に提出しなければならない。

8 イベント・フォーマット

- 8.1 本大会のレースのために0Aは、6艇のJ/24タイプの艇を用意する。競技艇には各々、以下のセールが用意される。
メインセール、ジブ、スピネーカー
- 8.2 艇はRCの決定により割り当てられる。RCの意図としては、毎日もしくはステージごとに抽選を行う。RCはまた、ノックアウト・シリーズにおいて艇の乗り換えを求めることがある。
- 8.3 使用するセールはRCにより割り当てられる。競技者は、スポンサーへの義務を果たすため、シリーズの最中にセールの交換を要請される場合がある。
- 8.4 艇をイコライズ（均等に）するための合理的な措置が踏まれている限り、艇の差異は救済要求の根拠とはならない。この項はRRS 61を変更している。
- 8.5 1日に帆走するマッチの数はRCにより決定される。RCは、前のフライトに続いて可能な限り速やかに次のフライトをスタート

させる意図を持って行う。

8.6 コースはスターボード回りの風上／風下コースとし、ダウンウィンドでフィニッシュする。

8.7 レース・エリアは三河みとマリーナの沿岸に設定する予定である。

8.8 チームは抽選により2つのグループに分けられる。（参加チーム数により、1グループのことがある）

8.9 本大会は以下のステージからなる。

Stage1 グループごとのシングル・ラウンドロビン

Stage2 異なるグループのチームとのラウンドロビン。（Stage1-2の完了で全チームが1回ずつ対戦することになる。）

Stage3 ファイナル・ノックアウト

Stage4 3-4位決定ファイナル

Stage2が行われる場合、Stage1と2を合わせて1つのラウンドロビン・シリーズとする。

8.10 RCは、現在の状況または予定されている残りの時間ではマッチの残りを行おうと試みるのが現実的でないと判断した場合、フォーマットを変更、またはいずれかのステージもしくは大会を打ち切ることができる。早期のステージを、後のステージを行うために打ち切ることがある。

9 予定プログラム

9.1 日程： 2026年3月06日（金）～3月08日（日）の3日間

Day1 3月 06日（金）

8:00 受付／体重測定開始

完了次第（目安9:00頃から）スキップーズ・ブリーフィング

10:00 レース艇ドックアウト

10:30 第1マッチ注意信号

17:00 アンパイア・デブリーフィング、翌日のスキップーズ・ブリーフィング

18:00 夕食（カレーライス&サラダバー）

Day2 3月 07日（土）

8:30 レース艇ドックアウト

9:00 Day2最初マッチの注意信号

17:00 アンパイア・デブリーフィング、翌日のスキップーズ・ブリーフィング

18:00 レガッタ・パーティー

Day3 3月 08日（日）

8:30 レース艇ドックアウト

9:00 Day3最初のマッチの注意信号発令

16:00 表彰式

17:00 解散

9.2 OAにより許された場合を除いて、以下の行事に出席することは義務である。

(a) スkipperは毎日のスキップーズ・ブリーフィングとアンパイア・デブリーフィング

（本大会ではクルーの出席も推奨する）。

(b) スkipperとクルーはレガッタ・パーティーと表彰式

10 広告

10.1 [NP] 各競技艇はOAにより選択され支給された広告を表示しなければならない。

11 【NP】 行動規範

- 11.1 競技者および支援者は、公式行事への出席や大会スポンサーへの協力を含む、オフィシャルからの合理的な要請に従わなければならない。また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。
- 11.2 競技者および支援者は、OAが支給したいかなる装備も、注意とシーマンシップおよび使用に関する指示に従い、その機能を妨害することのないように、取り扱わなくてはならない。
- 11.3 参加選手は可能な限り大会運営の補助をしなければならない。
- 11.4 OAが定める新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを遵守しなければならない。
- 11.5 OAは、競技者の不品行または公式行事への出席を含む合理的な要求に応じることの拒否に対して、賞を減じることができる。

12 【NP】 支援艇

- 12.1 支援艇は、支援しているチームの識別を目立つように表示しなければならない。
- 12.2 支援艇は艇がレースしている間、レース・エリアから概ね 100m離れていなければならない。またはオフィシャルからの合理的な要請に従わなくてはならない。
- 12.3 OA は支援艇用のバースを提供しない。

13 【NP】 メディア、映像および音響

- 13.1 OA により求められた場合：
 - (a) OA により支給された映像要員と機材（またはダミー）をレース中搭載しなければならない。
 - (b) 競技者はレース中、主催者により支給されたマイクロフォンを装着し、OA または RC に指示された場合、インタビューに応じなければならない。
 - (c) 登録されたスキッパーは、レースしている間コメンテーターが彼らと通信できるような、OA が支給する通信装置を装着しなければならない。
- 13.2 競技者は OA により支給されたメディア装置の正常な作動を妨害してはならない。
- 13.3 競技者および支援者は、この大会に参加することにより自動的に、OA および大会スポンサーに対し、大会中に記録された画像や音声を無料で使用する権利を許諾したこととなる。

14 リスク・ステートメント

RRS3 は次のように述べている。「レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある」。本大会に参加することによってそれぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、装備の故障、操船の誤り、他艇の未熟な操船術、不安定な足場でバランスを失うこと、疲労による傷害のリスクの増大、などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による、一生消えない重篤な傷害や死亡のリスクである。OA は、大会期間中及び前後の物理的損失や死傷等についての一切の責任を負わない。

15 賞

- 15.1 1位～3のチームには JYMA 賞を贈る。
- 15.2 海外の大会から JYMA にユース選手の招待状が届いた場合、本大会の成績を参考として推薦し支援する

16 問い合わせ

お問い合わせは下記にご連絡ください。

JYMA 大学マッチ実行委員 今津浩平

NoR 添付書 1－ダメージの取扱い基準

1. 以下のアイテムの紛失は理由のいかんに関わらず当該艇の責任として、その損失は当該スキッパーにより弁償されなければならない。
 - (a) ウインチハンドル : 16,200 円 / 1 本
 - (b) 講義旗 (Y 旗) : 5,000 円 / 1 本
 - (c) 識別旗、B 旗、損傷旗 : 各 3,000 円 / 1 本
2. 今回使用されるレース艇が加入している船体保険の免責額は 1 艇につき 300,000 円である。(リギン関係のダメージが有る場合はこの限りではない)。免責額内のダメージ補修費用は、当事者負担とすることがある。
3. SI アデンダム B「艇の取扱い規則」に違反した結果、生じたダメージは当該者の負担である。
4. 他艇との接触で生じた。艇体、セール、艀装装の他備品のダメージについては、その修理費用を当事者間で負担するものとする。その負担割合等については RRS 67 が適用され、当事者間の協議によるものとする。
5. 前項に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後 30 分以内にダメージ・レポートをレース委員会に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。
6. 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、レース委員会はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。